

## 概要報告

### CITES 掲載種分類学能力構築

#### (1) 開催概要

1. 開催日時：平成 30 年 2 月 6 日～2 月 8 日
2. 開催場所：マレーシア・クアラルンプール
3. 研修生：カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、タイ、ベトナム、モンゴルのから計 11 名
4. 講師（4 名）：  
【CITES 専門家】
  - ・ Rod Hay 氏（ニュージーランド、元 CITES 事務局職員）
  - ・ Badiah Ahmad Said 氏（インドネシア、環境森林省 CITES 附属書等担当）【ラン科分類学専門家】
  - ・ Irawati 氏（インドネシア、インドネシア科学院教授）
  - ・ Peter O' byrne 氏（マレーシア、マレーシア森林研究所客員研究員）

#### (2) 研修の背景及び目的

東・東南アジア生物多様性情報イニシアティブ（ESABII ; East and Southeast Asia Biodiversity Information Initiative）の取組として、東・東南アジア地域を対象に、過去の業務成果を踏まえ、ワシントン条約（CITES）附属書掲載種の違法取引防止に必要な分類学能力構築のための講師養成研修（ToT ; Training of Trainers）を実施するものである。

豊富かつ貴重な生物多様性を有する ASEAN 地域及びモンゴルにおいてはその保全を推進するための人材育成が依然として不十分であり、加えて、自国で研修を実施できる人材を養成したいとの要望が ASEAN 各国等から多く寄せられていることから、本研修においては、研修を自ら計画・実施できるような講師を育成することを目的とする。

また、今年度の研修においては、ラン科を中心とする CITES 附属書掲載種の違法取引防止に資するための講師養成研修を開催した。

#### 1 日目

研修初日の開会式では、講師の Rod Hay 氏、Irawati 氏、Peter O' Byrne 氏及び Badiah Said 氏の 4 名が挨拶した後、主催者である環境省生物多様性センターから齋藤佑介氏が挨拶。充実した研修になるよう期待する旨を述べるとともに、事務局として ESABII の概要を紹介した。

開会式終了後、アイスブレイクとして各参加者の挨拶を兼ねた自己紹介の時間が設けら

れ、また、Rod Hay 氏により各参加者の CITES に係る理解度を把握するための事前アンケートが行われた。その後、CITES 専門家の Rod Hay 氏による講義では、研修生が自国で CITES 研修を実現するにあたっての基本原則や心得のほか、CITES の附属書や取組に関する概要の説明がなされた。

午後の講義では、始めにランの専門家であり CITES への造詣も深い Irawati 氏による CITES 掲載種としてのラン科の紹介及び附属書を概観しての導入が行われた。また、ラン科分類学の専門家であり、マレーシア森林研究所の客員研究員である Peter O' Byrne 氏による分類学の講義が行われ、ラン科植物に関する幅広い分類学の講義が行われた。

## 2 日目

初日で学んだラン科植物についての識別能力育成のため、フィールド実習として、クアラランプール近郊にあるラン科植物栽培施設「Kama Nursery Centre」を訪問した。同施設では、施設所有者から施設案内及び栽培されているラン科植物について説明を受けた。また、講師より、ラン科植物の識別方法や識別における課題等について説明を受けるとともに、様々なラン科植物を実際に観察しながら、種の識別実習等を行った。

## 3 日目

Rod 氏による CITES の制度的枠組み、附属書の構成や使用方法、取引許可や実際の手続き等に関する解説が行われた。また、インドネシア森林資源省にて実際に CITES 許可証の実務に関わった経験を持つ Badia Said 氏による講義が行われ、最後にラン科の CITES 附属書に係る講義が行われた。

最後の研修課題では、研修生が将来的に自国で運営する研修のシミュレーションを目的とし、今回の研修で学習した内容を踏まえ、グループに分かれて各自で研修プランを検討・作成し、口頭発表した。また、研修生同士でのフリーディスカッションも行われた。

閉会式では、主催者である環境省生物多様性センター・齋藤氏が挨拶し、講師及び協力者へ謝辞を述べた後、すべての研修生に対し、今回の研修内容及び資料を有効活用しつつ、自国にてトレーナーとして活躍されることを強く希望すると述べた。

参加者に対して研修終了証を授与するとともに、本研修で使用された教材、講義資料及び写真等を電子データとして配布し、閉会した。

